

## 小平地域における子育てネットワークに関する研究（4）

家族・地域支援学科 山路 憲夫

子育て支援ネットワーク研究のうち、山路は自治体グループ班として自治体の子育て支援の状況、及び子育て支援担当行政の担当者、子育て支援に取り組むNPO、子育てサークルの現状と課題等の予備的調査を実施しました。

小平市の保育ママ、多摩市の子育て総合支援施設「たまっこ」、さらに子育て支援グループの支援に取り組む多摩信用金庫価値創造事業部の長島部長のヒアリング等を実施、多摩地区の子育て支援グループのネットワークづくりの方向を探った。2010年度は論文という形でまとめるこ

とはできなかったが、その中で得られた成果をもとに2011年度から3年間にわたる学術振興資金「子育て支援ネットワークづくりに関する研究」を申請、採択された。

2011年度から、2010年度までに培った子育て支援行政の担当者、NPOとの三者による共同研究もスタートさせ、子育て広場や保育ママ（家庭内保育）、病児保育、ファミリーサポートセンター等の子育て支援方策について調査研究を深める。2010年度はその予備的調査として一定の成果を得られた。

## 学生のメンタルヘルスに関する調査

子ども学科 市川奈緒子  
子ども学研究所長 無藤 隆  
発達臨床学科 尾久 裕紀  
発達・教育相談室 五十嵐元子  
学生相談室 稲本 絵里

この調査は、白梅学園（四大および短大）の学生のメンタル面を中心とした問題と、教員の意識と対応、および教員が考える支援体制の在り方に関して、教員から話を聞き、まとめることで、現在の学生の実態およびその支援体制の有効性と今後の課題について検討するものであった。対象となる教員のうち、およそ70%のかたがたにインタビュー調査に協力いただいた。その結果については、昨年度3月に冊子としてまとめ、4月の教授会で教員向けに配布した。その中では、教員としての学生指導・学生支援の蓄積や、大学教員以外のさまざまな専門性が活かされた、数多くの支援が報告された。今後は、そうした支援の有効性

を分析しつつ、白梅らしい支援体制の構築に向けて教員と職員とが共通理解できるよう、さらに研究を進めていきたいと考えている。